



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名 酒井重工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6358 URL <http://www.sakainet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 渡辺 秀善

TEL 03-3434-3401

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,526	15.7	562	185.9	438	—	310	—
23年3月期第3四半期	11,687	24.6	196	—	3	—	2	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 49百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △178百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	7.31	—
23年3月期第3四半期	0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,123	—	12,868	—	—	51.2
23年3月期	24,239	—	12,947	—	—	53.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,855百万円 23年3月期 12,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
24年3月期	—	1.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	6.0	510	17.5	360	87.8	250	180.7	5.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	42,620,172 株	23年3月期	42,620,172 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	194,466 株	23年3月期	191,961 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	42,426,955 株	23年3月期3Q	42,434,047 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結地域区分別売上高表

区 分	当第3四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日		前第3四半期連結累計期間 自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	6,296	46.6	6,000	51.3	296	4.9
海 外	7,229	53.4	5,687	48.7	1,542	27.1
北 米	1,317	9.7	1,097	9.4	219	20.0
アジア	4,593	33.9	3,755	32.1	837	22.3
中近東・ロシアCIS	496	3.7	286	2.5	210	73.5
その他	822	6.1	547	4.7	275	50.3
合 計	13,526	100.0	11,687	100.0	1,838	15.7

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における当企業グループを取り囲む事業環境は、東日本大震災に伴う電力問題とサプライチェーン問題の発生、欧州債務危機の長期化と超円高水準の定着、中国経済変調などマイナス要因が重なりましたものの、北米市場及び健全な新興国市場が底堅く推移するとともに、国内では道路の復興工事開始に向けた動きが始まるなど、欧州と中国を除く建設機械市場は概ね回復基調のまま推移致しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、中長期成長戦略である新興国市場開拓を積極的に進める一方、内製化とコストダウンによる社内付加価値創造、販売価格と原価構造面からの円高対策など、成長戦略と事業環境変化への取組みを強化して参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外向け販売を大幅に拡大し、前年同期比15.7%増の135億2千万円とすることが出来ました。利益面につきましても、営業利益を前年同期比2.8倍の5億6千万円とし、また経常利益を4億3千万円、四半期純利益を3億1千万円と前年同期に比べ大幅に改善することが出来ました。

連結地域区分別売上高状況につきましては次のとおりであります。

国内向け売上高は、東日本大震災後の瓦礫処理や西日本市場停滞の影響で伸び悩んでおりましたが、下半期に入りましては道路の復興工事に向けて販売が増加基調に転じ、売上高は前年同期比4.9%増の62億9千万円に拡大することが出来ました。

海外向け売上高は、底堅い回復基調にある北米市場、成長著しいアジア市場、市場開拓中の新興諸国で販売を拡大し、前年同期比27.1%増の72億2千万円にすることが出来ました。

北米市場につきましては、建設機械全般で底堅い回復基調に入り、売上高は前年同期比20.0%増の13億1千万円と致しました。

アジア市場につきましては、中国販売の減少を成長著しいインドネシア及びインドシナ半島諸国の販売拡大でカバーし、売上高を前年同期比22.3%増の45億9千万円にすることが出来ました。

中近東・ロシアCIS市場につきましては、サウジアラビアでの販売が堅調に推移するとともに、中近東やCIS諸国での販売網強化が進みました結果、売上高は前年同期比73.5%増の4億9千万円とすることが出来ました。

その他市場につきましては、オーストラリア市場が回復傾向に入り、中南米諸国での新規代理店設定が進みました結果、前年同期比50.3%増の8億2千万円にすることが出来ました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	売上高	百万円 10,816	百万円 9,212	百万円 1,603	% 17.4
	営業利益	109	△128	237	—
米 国	売上高	1,368	1,128	240	21.3
	営業利益	△8	△79	71	—
インドネシア	売上高	4,035	2,996	1,039	34.7
	営業利益	447	330	116	35.3
中 国	売上高	1,009	705	304	43.2
	営業利益	51	70	△19	△27.4
調 整 額	売上高	△3,704	△2,355	△1,348	—
	営業利益	△36	3	△40	—
連 結	売上高	13,526	11,687	1,838	15.7
	営業利益	562	196	365	185.9

日本

国内販売及び海外生産製品の三国間貿易積極化により売上高を前年同期比17.4%増の108億1千万円に拡大しました。結果、営業利益は前年同期比2億3千万円改善し、1億円の黒字に転換することが出来ました。

海外

米国は、売上高を前年同期比21.3%増の13億6千万円に拡大し、収益体質改善を進めました。結果、営業損失は前年同期比7千万円改善し、8百万円となりました。インドネシアは、国内販売及び第三国輸出ともに拡大基調に推移し、売上高を前年同期比34.7%増の40億3千万円まで拡大しました。結果、営業利益は同35.3%増の4億4千万円となりました。中国は、国内販売が前年同期比約2割減少する一方、第三国向け輸出を大幅増加させ、売上高を前年同期比43.2%増の10億円まで拡大しましたものの、輸出採算が厳しく、営業利益は同27.4%減の5千万円に留まりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ8億8千万円増加し、251億2千万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が3億9千万円増加、たな卸資産が8億円増加し、現金及び預金が1億8千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億5千万円増加し、184億7千万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が1億5千万円増加、投資有価証券が評価差額金等により3億円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億7千万円減少し、66億5千万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が13億6千万円増加、短期借入金が6億6千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ21億6千万円増加し、115億8千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が11億5千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ12億円減少し、6億6千万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が1億8千万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億8千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7千万円減少し、128億6千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2ポイント減少し、51.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、復興工事本格化の遅れや、歴史的超円高下における熾烈なグローバル競争、欧州債務危機長期化に伴う世界経済変動リスクなど、まだまだ予断を許すことは出来ません。このような不確実性の高い経済情勢の下で当企業グループでは、復興工事需要への対応体制整備とともに、引続き積極的な新興国市場開拓、原価のドル化による構造的為替変動対策、自助努力による内部収益構造改善、グローバル連結経営体制の強化を進め、短期並びに中長期業績向上を目指して参ります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,237,338	4,055,999
受取手形及び売掛金	5,575,373	5,965,676
商品及び製品	3,348,103	3,677,139
仕掛品	1,510,191	1,698,658
原材料及び貯蔵品	2,426,935	2,709,673
その他	218,939	372,015
貸倒引当金	△4,722	△7,484
流動資産合計	17,312,158	18,471,678
固定資産		
有形固定資産	3,544,756	3,701,845
無形固定資産	104,220	87,106
投資その他の資産		
投資有価証券	2,156,184	1,848,688
長期貸付金	5,306	544
その他	1,142,976	1,038,619
貸倒引当金	△25,647	△25,025
投資その他の資産合計	3,278,819	2,862,827
固定資産合計	6,927,796	6,651,779
資産合計	24,239,955	25,123,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,741,472	5,102,865
短期借入金	4,574,400	5,238,822
未払法人税等	62,855	143,438
引当金	50,649	55,134
その他	992,313	1,047,942
流動負債合計	9,421,691	11,588,204
固定負債		
長期借入金	1,201,525	44,844
引当金	47,177	49,588
その他	621,635	572,675
固定負債合計	1,870,338	667,107
負債合計	11,292,030	12,255,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,115,199	3,115,199
資本剰余金	6,361,142	6,361,142
利益剰余金	3,605,241	3,788,221
自己株式	△43,811	△44,181
株主資本合計	13,037,771	13,220,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386,149	197,074
為替換算調整勘定	△487,638	△561,459
その他の包括利益累計額合計	△101,488	△364,385
少数株主持分	11,642	12,150
純資産合計	12,947,924	12,868,146
負債純資産合計	24,239,955	25,123,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,687,441	13,526,175
売上原価	8,915,511	10,267,960
売上総利益	2,771,930	3,258,215
販売費及び一般管理費		
運搬費	170,356	223,724
給料及び賞与	1,056,705	1,093,486
技術研究費	431,466	497,791
その他	916,524	880,349
販売費及び一般管理費合計	2,575,052	2,695,351
営業利益	196,877	562,864
営業外収益		
受取利息	12,164	6,770
受取配当金	37,136	39,304
その他	31,297	21,982
営業外収益合計	80,598	68,056
営業外費用		
支払利息	131,798	98,529
為替差損	77,568	53,151
その他	64,683	40,795
営業外費用合計	274,049	192,476
経常利益	3,425	438,444
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,244	—
固定資産売却益	1,556	829
投資有価証券売却益	433	0
保険解約返戻金	—	3,475
退職給付制度終了益	4,813	—
移転補償金	104,630	—
特別利益合計	112,678	4,305
特別損失		
固定資産処分損	8,875	612
投資有価証券評価損	—	3,048
ゴルフ会員権評価損	1,130	419
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,519	—
特別損失合計	19,525	4,081
税金等調整前四半期純利益	96,578	438,669
法人税等	92,343	125,298
少数株主損益調整前四半期純利益	4,235	313,370
少数株主利益	1,869	3,109
四半期純利益	2,365	310,261

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,235	313,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,151	△189,074
為替換算調整勘定	△113,436	△74,377
その他の包括利益合計	△182,588	△263,452
四半期包括利益	△178,352	49,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179,777	47,364
少数株主に係る四半期包括利益	1,424	2,553

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,578	438,669
減価償却費	241,043	254,467
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,051	2,150
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	4,973	4,485
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,501	3,580
受取利息及び受取配当金	△49,300	△46,075
支払利息	131,798	98,529
固定資産売却損益 (△は益)	△1,556	△829
固定資産処分損益 (△は益)	8,875	612
投資有価証券売却損益 (△は益)	△433	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,048
ゴルフ会員権評価損	1,130	419
売上債権の増減額 (△は増加)	128,134	△456,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	87,777	△905,121
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,259,277	1,460,744
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,775	△61,743
その他	△417,192	△134,192
小計	2,471,776	662,589
利息及び配当金の受取額	27,809	31,364
利息の支払額	△139,372	△96,320
法人税等の支払額	△64,007	△40,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,296,205	557,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	60,000
有価証券の売却による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△150,741	△192,051
有形固定資産の売却による収入	1,903	3,104
無形固定資産の取得による支出	△5,786	△1,492
投資有価証券の取得による支出	△308,460	—
投資有価証券の売却による収入	300,433	1
貸付けによる支出	△1,400	△1,500
貸付金の回収による収入	2,556	3,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,494	△128,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△742,154	△69,747
長期借入れによる収入	223,780	—
長期借入金の返済による支出	△610,436	△285,556
自己株式の取得による支出	△994	△370
配当金の支払額	△127,304	△127,281
少数株主への配当金の支払額	△2,066	△2,044
その他	3,356	△41,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,285,819	△526,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73,687	△23,493
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	905,203	△121,338
現金及び現金同等物の期首残高	4,308,587	4,077,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,213,791	3,956,003

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。